



発行 東海大学付属大阪仰星高等学校中等部
東海大学付属大阪仰星高等学校
発行者 校長 小寺 建仁
〒573-0018 枚方市桜丘町60-1
電話 (072)849-7211

第89号



ブラックブラック 言うな!

高校副校長 塚野直樹

今年も教育実習生が帰ってきた。本校では前後期合わせて今年度は24名の実習生を受け入れている。多い年では35名くらい来たこともある。かなり多い部類だと思う。実習生はスーツに身を包み、神妙な面持ちで初日を迎える。校長講話、各分掌主任からのガイダンスの後、ホームルームデビュー。続いて実習授業に向けて指導案を練るが、指導教員にダメ出しされて手直し。これを何度も繰り返し、ようやく仕上がった教案を握りしめていざ教壇に立つも、すべてが頭からぶっ飛んで玉砕。落ち込んで反省してリトライ。こうしたことを繰り返しながら少しずつ成長していく。また、クラスの生徒とも次第に打ち解けられるようになってきて、わずかながら手ごたえと充実感を感じられるようになってくる。そして最終週、これまでの集大成かつ最大の難関「研究授業」に挑む。校長をはじめ多くの教員が見つめている。最大のパフォーマンスを発揮したい。何より目の前の「私の」生徒たちに最高の授業を届けたい。この期間で心身共に成長した元生徒たちのこうした姿を見ることができると、我々にとって毎年の楽しみである。

そして毎年考える。この24人の中から、どれだけの学生が将来教職を目指すのだろう。もちろん教育実習に来る全ての学生が教職を目指すわけではない。それは昔からそうだが、近頃はマスコミによって「学校教員はブラック」という記事がこれでもかと出回っており、こうした記事を目にしないう日はないほどだ。そのどれもが長時間労働、いじめ、モンスターペアレントといった問題ばかりクローズアップしており、教師という仕事に対するイメージは悪化の一途である。そのため教職を実際に志望する学生の数がどんどん減っているという。

しかし一方で、国内およびグローバル情勢は刻一刻と変化している。この複雑性・不確実性・多様性の時代において、人材育成・人間教育という教師本来の社会的価値はますます高まっている。にもかかわらず、この実践に日々心を砕き、地道に努力し続けている数多くの教師の姿が伝えられることは稀だ。もちろん学校の勤務環境については改善が必要であることは言うまでもない。本校でも校長直轄の「働き方改革実行委員会」を数年前に設置し、勤務における負担軽減と労働時間の削減に取り組んでいる。こうした教師のQOL・ワークライフバランス向上は今後も継続的になされなければならないし、そのことをマスコミが取り上げることで環境整備が進む面もあるため、報道の全てを否定するつもりはない。

しかしながら、大きく言えばこれからの日本を背負う人材を育成するという観点から、教師の社会的価値や教育の意義をもっと世の中に知らしめ、より多くの若者が使命感とやりがいを持って教育の世界に飛び込んでいける社会にしていくことも、同時にとても大切なことだ。何にせよ物事には良い面と悪い面があり、そのどちらかに偏った情報提供は偏った考え方を生む。

高校生1,752人、保護者1,457人を対象に調査がなされ、昨年公開された、一般社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルート合同調査「第11回 高校生と保護者の進路に関する意識調査」(<https://shingakunet.com/journal/column/20200331000001/>)によると、高校生が就きたい職業ランキングTOP10は以下の通りであった。

1位 教師、2位 医師・歯科医師・獣医、3位 看護師、4位 公務員、5位 エンジニア・プログラマー・IT関連、6位 会社員、7位 薬剤師、8位 会計士・税理士・行政書士、9位 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連、10位 技術者・研究者

なんと教師は1位である。保護者が子供に就いてほしい職業ランキングでも4位と、高い順位であった。ところが、2024年3月卒業予定の全国大学4年生及び院2年生1,984名を対象に実施した「2024年卒マイナビ大学生業界イメージ調査」(<https://agent-guide.com/daigakusei-naritaisyokugyo-ranking/>)によると、大学生のなりたい職業・業種ランキングTOP10は、

1位 ソフトウェア・情報処理・ネット関連、2位 食品・農林・水産、3位 官公庁・公社・団体、4位 薬品・化粧品、5位 繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック、6位 電子・電気機器、7位 医療・調剤薬局、8位 通信、9位 銀行・証券、10位 自動車・輸送用機器

となっており、「教育」は圏外に姿を消している。もちろん大学生になれば視野がさらに広がる上に、自分の人生をより現実的に設計するようになるため、「なりたい職業」というよりは「実際に就くことのできる職業」や「就くに値する職業」を自分の適性や労働条件、これからの社会のニーズ等を綿密に吟味して考えるようになる。マスコミの報道を自分ごととして考え、その意思決定に反映するのもこの時期である。こうした意味でも、マスコミの与える影響は大きい。学校における質の高い教育レベルを担保し、将来の優秀な人材を確保するためにも、バランスの取れた報道が大切だ。

研究授業も無事に終わった教育実習最終日、どのクラスでも最後のホームルームで実習生とのお別れ会が開かれる。黒板に生徒からの寄せ書き、花束と色紙のプレゼント。試行錯誤を繰り返しながらも全力で駆け抜けた3週間。万感胸に迫る。教師っていいもんだなー。教育に対するこうした純粋な気持ちや、職業選択にある程度直結するような世の中になればと切に願う。

人類が迎える未来 ～我々が身につけなければならない能力を将棋から学ぶ～ Part②

皆さんは『2045年問題』と言われるものをご存じですか？AI(人工知能)の性能が2045年に人類の知能を超え、AIが人類に代わって文明の主役になるシンギュラリティ(技術的特異点)がやってくると言われています。今から約20年後に、我々の仕事のほとんどはAIが代替できることになり、現在の高校生は4代になるとそのような時代がやってくる可能性があります。皆さんはそのような時代をどう生きますか？という内容を、前回の天の川で掲載しました。読んでいただきましたか？

2024年現在、将棋というゲームにおいて、AIが人類を完全に上回ったと言われています。では、将棋のプロ(これを「棋士」と呼びます)の存在価値はどこにあるのか？それはまさに「付加価値」です。AIが完全に上回っている以上、勝敗にのみこだわる棋士の存在価値は高くありません。大衆は棋士に対して、勝敗のみならず、棋士自身の人柄や将棋にかける姿勢に感銘を受け、そこに魅力を感じ対局を楽しみにしています。そして、今年また将棋界にその「付加価値」を高める(と思われる)出来事が起こりました。2023年10月11日、当時の永瀬拓也王座を破り、藤井総太八冠が誕生しました。(ここにもものっぴきならないドラマがありましたが、今回は割愛します)それから2024年6月20日、第9期^{えいおう}叡王戦第5局、伊藤 匠七段が勝利し、叡王のタイトルを奪取し、藤井八冠は保持日数254日で、タイトルの一つを失冠しました。

伊藤さんは藤井さんと同い年で、小学校3年生の時に、全国大会で藤井少年との対戦で勝利し、当時の藤井少年が大泣きしたシーンで、「藤井を泣かせた男」として一躍有名になりました。高校1年生の時に、棋士になるために高校を退学し、将棋の勉強中心の生活を送ります。そして、2020年、藤井さんより4年遅く四段昇段(プロ入り)を果たします。

伊藤さんと藤井さんに交流があったかは定かではありませんが、飛ぶ鳥を落とす勢いで活躍する同学年の姿を見て、ライバル視していたことは容易に想像できます。一般的にも広く知られる存在である藤井さんを目標に、将棋の勉強をし、対局を重ねて経験を積んできたことでしょう。そのような存在があったからこそ、伊藤さんは強くなれたと思いますし、タイトルを奪取させた藤井さんも、今後は新しい目標を作り、将棋と向き合うはずで。このように、若き二人の関係は、互いを意識し合い、切磋琢磨していく間柄になるでしょう。そして、我々は今後も様々なドラマを目の当たりにし、胸を躍らせることになるでしょう。ここに、棋士の存在価値があります。機械同士の戦いでは、我々は胸を打たれることもないでしょう。

このことを君たちの学習に置き換えてみます。今年は新学習指導要領下での初めての大学入試が行われます。入試を突破するという大きな目標に向かい、皆さんは勉強に励んでいます。教科書の「知識」を丸暗記するだけでなく、自分の力で「表現」したり、より深いところまで「思考」するような学力が求められています。将棋で言うと、AIが考えない手、人間でしか思いつかない手を追求するように、学習を通じて自身の表現力・人間力を向上させることが必要です。また、勉強は一人ではできません。教室にいる友達や部活動の仲間たちと、ともに競い合い、励まし合い、互いの能力を高め合う関係であってください。そこには尊敬や感謝、信頼の気持ちが生まれるはずで。まさに、伊藤さんと藤井さんの関係のように。

長くなりましたが、最後に一言。この夏休みを有意義に過ごしてください。学校生活では勉強や部活動に忙しく過ごしている生徒が多いと思いますが、夏休みに時間を見つけて普段やったことのないことに積極的にチャレンジしてください。

高校3年生の皆さん、受験を突破するにあたりこの夏休みは非常に重要です。夏期特別講座を最大限に利用して、悔いのない夏休みにしてください。『夏休みを制する者は受験を制す』と言われています。全校集会で充実した顔つきの皆さんに会えることを楽しみにしています！

夏休みの行動にご注意を！

保護者の皆様へ

スマートフォンの普及にともない、生徒達が入手する情報はまさに多種多様となっています。本校においては、2つの側面で保護者の皆様にもご注意いただきたいと考えています。

一つ目は、青少年におけるソーシャルメディア利用の拡大についてです。青少年が影響やリスクを考慮することなく、安易な発言や画像・動画の投稿、プライバシーに係わる情報等を発信することにより、ネット上での炎上や犯罪被害につながる問題が多発しています。本校においても生徒指導部や情報管理室からの注意喚起、講演等による啓発活動など、様々な方法で生徒に安易な使用の危険性を訴えております。ご家庭においても是非スマートフォンの使用に関するルール決めをしていただくようお願い致します。

もう一つは依存度の高さです。ソーシャルメディアやゲームアプリなどの長時間利用により、睡眠不足・体調不良等を誘引する恐れがあります。やはり生徒が使用する情報機器に関しては、使用時間の制限やフィルタリング等も含め、ご家庭におけるルール決めを重ねてお願い致します。

最後に、夏休みは生徒達も気が緩みがちになるかと思われます。興味本位で繁華街等のにぎやかな場所に入入りし、思わぬ事件・事故に巻き込まれてしまい、取り返しのつかないことにもなりかねません。また、そのような場所では違法薬物等が出回り、使用した者による重大な事件の発生も新聞・ニュース等で報じられています。そのようなことにならないよう、言葉巧みに近づき勧められるものに手を染めることのないよう、普段から生徒達の状況を十分に把握していただきたいと思います。

生徒達が一人で悩んでいるような場合は一声かけていただき、話を聞いてあげてください。お困りの場合は、学校や警察にご相談してください。生徒達が有意義な高校生活を過ごせるよう、保護者の皆様と学校で連携し、生徒達をサポートしていきたいと考えています。ご協力よろしくお願い致します。

中等部 夏期特別講座授業

●7・8月夏期特別講座

7月22日(月)～26日(金)、8月21日(水)・22日(木)の7日間、夏期特別講座を実施いたします。全コースとも必修となっており、年間の授業時間数にも含まれます。この講座が、夏期休暇中の継続した学習習慣に繋がることを期待しています。特に中学3年生にとっては、高校進学に向けて大切な時期です。この授業で前期の復習をしっかり行い、後期につながるよう実力アップに努めてください。

●7月23日(火)「探究講座」開講

7月23日(火)一日限定で、今年度も探究講座を開講いたします。探究講座は、「日常の課題・疑問を学問の視点からひも解く」ことがテーマで、「探究することの楽しさ」を感じてもらえるような内容になっています。中・高の教員が連携体制で開講することも特色になっており、毎年とてもユニークな授業が行われています。

この機会に、生徒たちが知的好奇心を高め、その後の学習モチベーションの向上に繋げてもらえること、そして「探究」を一足早く経験することによって、高校の「探究」の授業で活躍してくれることを期待しています。



中等部 研修旅行

中等部研修旅行に行ってきました！仰星高校中等部は毎年6月に全学年でそれぞれ研修旅行に出かけています。

1年生 三保研修(静岡)・・・6月19日(水)～20日(木) 1泊2日

東海大学静岡キャンパスや海洋博物館を訪れ、海洋スポーツやウミホテルの発光実験などの体験学習のほか、大学の先生方による講演や施設見学など、見聞を広げることができました。また、鉄舟寺など建学の歌の歌詞に含まれる地を訪れ、建学の精神に触れることもできました。

2年生 四国研修(徳島・香川)・・・6月19日(水)～21日(金) 2泊3日

昨年度の2年生は富山県に行きましたが、今年度は同じくSDGs未来都市に選定されている徳島県上勝町を訪れ、『葉っぱビジネス』成功のお話を聞かせていただいたり、ゼロ・ウエストセンターを見学し、徹底したリサイクルについての説明を受けたり、充実したSDGsの学びを得ることができました。後期に実施予定の持続可能な枚方のまちづくりに関するヒントを得ることができたと思います。その他、雄大な自然環境での民泊体験やラフティングも経験し、最終日にはおいしいうどんを食べて高松市内散策も楽しみました。

3年生 ハワイ語学研修・・・6月17日(月)～23日(日) 5泊7日

約1週間ハワイ・オアフ島にあるハワイ東海インターナショナルカレッジを拠点とした研修に行ってきました。語学研修では「英会話・米文化」「スピーチ」「ハワイ文化」の3つの講座を受講し、フラダンスの講習も受けました。

最終日にはSDGsをテーマに英語でプレゼンテーションをしました。お楽しみof アクティビティでは、ビーチでのボディボードやワイキキ散策を楽しんだり、ポリネシアンカルチャーセンターや、パールハーバーを訪れることで島の文化や歴史的事実を学んだり、最高の研修旅行になりました。

2024年度 星河祭(体育の部：9/26(木) 文化の部：9/28(土)・29(日))

「星河祭」と呼ばれる体育祭・文化祭が今年度も実施されます。もともとは学園全体で使われている「建学祭」という名称でしたが、開校4年目に生徒の発案により「星河祭」という呼称が使われるようになりました。以来、私たちは「汝の希望を星につなげ」という建学の四訓の一つと、枚方・交野が古来「天の川伝説」の地であることを見事に掛け合わせたこの素敵な呼称に愛着を覚え、毎年わくわくするようなお祭を開催してきました。

9/26(木)開催予定の体育の部に関しては、通常を開催を予定しております。

9/28(土)、9/29(日)開催予定の文化の部については、1日目(9/28)は昨年も引き続きご好評を頂いた「クラブ成果発表会」を生徒のみで開催予定です。2日目(9/29)については、生徒1名につき1家族様ご招待の開催を計画しております。加えて、新たな企画も現在進行中です(6/30現在)。

少しでも生徒達の成長を促すことができるよう、自ら企画し、自ら楽しみ、自ら成し遂げることを目指し、学校全体で生徒をサポートしていきたいと考えております。保護者の皆様方においては、今年度の開催についての趣旨を何卒ご理解頂き、生徒達の星河祭に対する活動にご声援を頂ければ、と存じます。どうぞよろしくお願い致します。

研究部からの報告**研修旅行**

本校では例年、高校2年次に実施される研修旅行。「team Gyoseiの学び」に示される力(自主性・行動力、グローバルな視野、課題発見・解決力、多様性を受容できる力)を持つ人物を育てる試みとして、仰星の研修旅行は「生徒自身が目的と行き先を考え、決定する」スタイルへと昨年度リニューアルしました。「仰星オリジナル」の研修旅行を初めて企画した40期生(現高3)の旅は、大変素晴らしいものでした。先輩たちの旅のノウハウを引き継ぎ、41期生(現高2)は以下5コースの旅を計画中です。

- ① オーストラリア (海や大地の豊かさに触れ、現地での交流から文化について考える)
- ② ドイツ (唯一無二の文化と平和と環境を学ぶ旅)
- ③ シンガポール (『世界で最も住みやすい都市』で学ぶ異文化共存、自然との共存)
- ④ フィンランド (自然と文化の調和、世界一幸福な国フィンランドの魅力を体感する)
- ⑤ 沖縄 (美ら海と歴史をうちなータイムで感じる)

「自主性・グローバルな視野・課題発見・多様性」という観点をベースに、どこに行って何を学ぶのか。それぞれのコースの研修旅行委員が中心となり、それぞれの思いを込めて旅のプランの細部にまで検討が進んでいます。この旅で得られる様々な経験や知見は、41期生の更なる成長を促すきっかけになることでしょう。

41期生に続き、42期生(現高1)の「旅」作りも、すでに始まっています。4月に「SDGsカードゲーム」に取り組んだ後、「42期生が関心のあるSDGsのGoal」について考えるクラスワークショップを行い、旅のテーマの元となる「42期生の意見」が集まりました。集まった意見は各クラスのSDGs委員によって集約され、「旅」の大まかな指針となります。そして6/27には「旅の目的と行先」について(株)JT協賛による学年ガイダンスを経て、具体的な検討段階に入ります。40期、41期のノウハウを受け継ぎ、42期の「旅」作りは更に加速していきます。

「生徒自身が決定する研修旅行」は仰星の新たな伝統の一つとして今、進化中です。

進路行事**進路指導部****(1)高校1・2年 進路 到達度テスト 予定**

1. 実施日：2024年8月28日(水)
2. 内 容：英(50分)・数(50分)・国(50分)

(2)2024年度 大学入学共通テスト 説明会 予定

1. 実施日：2024年9月5日(木)放課後・本校講堂
2. 学 年：高校3年
3. 内 容：願書配布、出願等についての説明
4. 大学入学共通テスト受験希望者は、必ず参加のこと。

注：現役生の出願は、すべて在籍高校からの一括出願となります。

**(3)卒業生講演会**

1. 実施日：2024年9月12日(木)5・6限
2. 学 年：高校1年 中等部3年(6限のみ)
3. 内 容：自分自身の進路について考え、明確な将来像を描くための一助として、各界で活躍する本校の卒業生を講師として、実社会で働く喜びと苦勞、学校生活で磨いておくべき資質等について直接お話し

いただく機会を設けています。

生徒たちは、自分自身の希望に合わせて、参加する講話を決める形になっております。実際に社会で活躍する先輩の話聞く機会は、貴重なものです。自分のキャリアデザインをより豊かにするために、しっかりと活用してほしいと思います。

(4)高校3年 第1回 ベネッセ・駿台マーク模試 予定

1. 実施日：2024年9月13日(金)・14日(土) ※6教科受験の生徒のみ
2. 内容：国語<200点・90分>・数学①②<各100点・①70分、②70分>・英語(筆記)<100点・80分>・英語(リスニング)<100点・30分>・地歴・公民<各100点・各60分>・理科<各100点・各60分>・情報<100点・60分>
3教科3科目～6教科8科目より個人選択受験

スクールカウンセラーからのメッセージ

新学期が始まって一息つき、もうすぐ夏休みが始まります。今年は、バリオリンピックも始まりますね。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

新しい学校生活や部活、友人関係、勉強のことなど、もしかしたら何かに疲れて、悩んでいることがある人もいませんか。スクールカウンセラーは、みなさんの幸せな学校生活を送るお手伝いができればと考えています。少し疲れたな、話を聞いてほしいなど、どんな

小さなことでも構いません。一人で悩まず、一緒に考えてみませんか。

スクールカウンセラーは、毎週木曜日と土曜日に来ています。予約は保健室でとることができます。どうぞお気軽にお越しください。

スクールカウンセラー 木曜日 西村 恭子
土曜日 小川 真理

2025年度入試に向けた 本校の生徒募集イベント

本校では、受験生や保護者のみなさまに本校の魅力をより詳しく知っていただくために、生徒による学校説明や施設案内のほか、制服ファッションショーなど、趣向を凝らした説明会を開催しています。オープンスクールでは、授業やクラブ活動などを体験できます。また、中等部ではプレテストを実施し、入試に向けた力試しにも挑戦できます。

入学試験においては、中・高ともに英検の資格を持っていると、取得級によって優遇措置が適用される制度もあります。下記の日程で入試イベントを実施いたしますので、ご兄弟の方のみならず、ご親戚やお知り合いの方にご紹介いただければ幸いです。

また、先日お知らせしました通り、「出張ミニ説明会」も随時受け付けております。ご都合のいい日時に、お近くの場所にて本校から教員が向ういてご説明・ご相談に応じます。随時、学校見学も受け付けております。ご希望の方は以下までご連絡ください。

生徒募集対策室(塚野・軯安・西・角石) Tel: 072-849-7211 Email: gyosei_pr@tokai.ac.jp

中等部		高校	
入試説明会	9月7日(土) 14:00	学校説明会	8月24日(土) 14:00
	11月2日(土) 9:30 (第2回プレテストと並行実施)	入試説明会	11月30日(土) 14:00
	11月16日(土) 14:00	イブニング個別説明会	9月18日(水) 18:00
第2回クラブ体験週間	9月9日(月)～16日(月・祝)	オープンスクール	10月19日(土) 14:00
イブニング個別説明会	9月18日(水) 18:00	五ツ木模試連携説明会	12月8日(日) 9:30 (保護者対象:メディアセンター)
第2回オープンスクール	10月19日(土) 9:30	入試直前イブニング 個別相談会(中・高とも)	12月2日(月)～6日(金) および12月9日(月)～13日(金) 18:00
第1回プレテスト	8月24日(土) 10:00		
第2回プレテスト	11月2日(土) 8:50		
Gyosei Meetingフェス ～在校生との座談会～	2025年3月22日(土) 10:00		

*各入試イベントは、本校ホームページ等を通じて詳細をお伝えする予定です。
(いずれもホームページより事前予約が必要です)

*中等部第1回プレテストは、国語と算数の2科目のみとなります。
中等部第2回プレテストは、A日程入試本番と同様の形式・試験科目で行います。

*上記「出張ミニ説明会」はメールにて随時お申し込みください。

7月～9月行事予定

中等部

7月5日(金)	2～4限授業	8月24日(土)	中等部第1回プレテスト(10:00～研修棟)
7月6日(土)	自宅学習	8月26日(月)	高校学校説明会(14:00～講堂)
7月8日(月)	前期期末試験	8月27日(火)	1～4限授業
7月9日(火)	前期期末試験	8月27日(火)	仰星の休日
7月10日(水)	前期期末試験	8月28日(水)	1～4限授業
7月11日(木)	前期期末試験	8月28日(水)	キャリア教育 2限1年・3限2年・4限3年
	クラブ健診(午後)	8月29日(木)	平常授業開始
7月12日(金)	自宅学習	9月2日(月)	朝礼
7月13日(土)	自宅学習	9月7日(土)	40分×4限授業
	中等部夏のオープンスクール(9:30～)		中等部第1回入試説明会(14:00～)
7月15日(月)	海の日	9月12日(水)～18日(水)	合唱コンクール放課後練習期間
7月16日(火)	自宅学習	9月15日(土)	夏期課題試験(五ツ木模試)
7月17日(水)	答案返却		1・2年6限以降平常 3年卒業生講演会(6限)
	夏休み前クラブ健康相談(午後)	9月15日(日)	五ツ木模試会場
7月18日(木)	自宅学習	9月16日(月)	敬老の日
7月19日(金)	自宅学習	9月19日(木)	合唱コンクール学年リハーサル
7月20日(土)	全校集会・三者面談		1限3年・2限2年・3限1年(講堂)
7月22日(月)	夏期特別講座(前期・3限×60分)		全体リハーサル(PM講堂)
	三者面談(午後)	9月20日(金)	合唱コンクール
7月23日(火)	夏期特別講座(探究講座)	9月21日(土)	平常授業
	三者面談(午後)	9月22日(日)	秋分の日
7月24日(水)	夏期特別講座(前期・3限×60分)	9月23日(月)	振替休日
	三者面談(午後)	9月24日(火)	50分×4限授業
7月25日(木)	夏期特別講座(前期・3限×60分)		体育の部準備
	中2年保健講話(3限 視聴覚)	9月25日(水)	体育の部リハーサル
7月26日(金)	夏期特別講座(前期・3限×60分)	9月26日(木)	星河祭体育の部
8月11日(日)	山の日		※体育の部順延時⇒通常授業
8月12日(月)	振替休日	9月27日(金)	文化の部開始式/文化の部準備
8月21日(水)	夏期特別講座(後期・3限×60分)	9月28日(土)	星河祭文化の部(1日目)
	漢検(希望者受検)	9月29日(日)	星河祭文化の部(2日目)
8月22日(木)	夏期特別講座(後期・3限×60分)	9月30日(月)	自宅学習
8月23日(金)	自宅学習		※体育の部順延時⇒1～4限授業・PM準備
8月24日(土)	1限全校集会・2限LHR(放課)		

高等学校

7月4日(木)	2年いのちのお話 「デートDV防止講座」(6限講堂)	8月24日(土)	中等部第1回プレテスト(10:00～研修棟)
7月5日(金)	前期期末試験	8月26日(月)	高校学校説明会(14:00～講堂)
7月6日(土)	自宅学習	8月27日(火)	1～4限授業
7月8日(月)	前期期末試験	8月27日(火)	仰星の休日
7月9日(火)	前期期末試験	8月28日(水)	3年 1～4限授業
7月10日(水)	前期期末試験		1・2年 到達度テスト(終了後放課)
7月11日(木)	前期期末試験	8月29日(木)	平常授業開始
	クラブ健診(午後)	8月31日(土)	第3回保護者代表幹事会(14:00～)
7月12日(金)	自宅学習	9月2日(月)～21日(土)	教育実習
7月13日(土)	自宅学習	9月5日(木)	2年 進路LHR(6限各クラス)
	中等部夏のオープンスクール(9:30～)		3年 共通テスト説明会(15:50～講堂)
7月15日(月)	海の日	9月7日(土)	40分×4限授業
7月16日(火)	自宅学習		中等部第1回入試説明会(14:00～)
7月17日(水)	12:50答案返却/探求ノート・面談準備	9月12日(水)	1年 卒業生講演会(5・6限)
7月18日(木)	自宅学習	9月13日(木)	3年 ベ験マーク模試
7月19日(金)	自宅学習	9月14日(金)	AM3年 ベ験マーク模試(6教科受験者)
7月20日(土)	全校集会・英数特進コース集会	9月15日(日)	五ツ木模試会場
	三者面談	9月16日(月)	敬老の日
	2年追試・補填オリテ(化学基礎)	9月19日(木)	1年 基礎探究ポスター発表会(3・4限体育館)
7月22日(月)	三者面談	9月22日(日)	秋分の日
7月23日(火)	三者面談	9月23日(月)	振替休日
7月24日(水)	三者面談	9月24日(火)	50分×4限授業
7月25日(木)～31日(水)	夏期特別講座		体育の部準備
7月31日(水)	2年追試(化学基礎)	9月25日(水)	体育の部リハーサル
8月6日(火)～8日(木)	学オリススポーツ大会(第55回)@湘南キャンパス	9月26日(木)	星河祭体育の部
8月11日(日)	山の日		※体育の部順延時⇒通常授業
8月12日(月)	振替休日	9月27日(金)	文化の部開始式/文化の部準備
8月19日(月)～22日(木)	夏期特別講座	9月28日(土)	星河祭文化の部(1日目)
8月24日(土)	1限 全校集会・2限 LHR(放課)	9月29日(日)	星河祭文化の部(2日目)
	3限 前年度卒業生講演会(高1英数)	9月30日(月)	自宅学習
			※体育の部順延時⇒1～4限授業・PM準備

編集後記

早いもので夏休みがやってきました。新年度が始まり、4月から7月まで、どのような学校生活を送れたでしょうか。振り返ってみましょう。今という時間はどのように過ごしても人生で一度だけです。長期休暇中においても、勉強、部活動、家庭生活など、人それぞれ打ち込むものは違いますが、計画を立てて、日々、充実した時間を過ごしましょう。今年の夏も猛暑の予報が出ています。熱中症など体調面にも十分気を付けてください。